

みんなの「なんな-の?」を伝えるこども記者のための新聞



信毎こども記者ニュース

発行/連絡先

こども記者クラブ(信濃毎日新聞) 〒380-8546 長野市南県町657
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp



no.88

火山のめぐみや仕組み 学んだよ



火山のめぐみや火山防災につながる知識を学ぶ、
第16回信毎こどもスクール「しんまい火山の学校3」
が6月17日、茅野市でありました。磐梯山噴火記念館(福島県)館長の佐藤公先生と箱根ジオミュージアム(神奈川県)学芸員の山口珠美先生のお話を聞き、いくつかの実験を通して火山のいろいろを学びました。



木粉の中に入れた風船の空気をぬくと...



カルデラのようなへこみができました

火山は人に害を及ぼす怖いイメージでしたが、先生のお話を聞き、魅力をたくさん知りました。火山は、美しい景色や湧水など、私たちの生活にかかせない物も与えてくれます。これからは私たちの住む大地を学び、火山などの自然が身近な長野県を大切にしたいです。
安曇野市6年 中鳥桃和子記者

めぐみ

火山=災害というイメージでしたが、たくさんの恩恵ももたらしてくれと知りました。ほくの住む八ヶ岳周辺も火山でできた地域です。八ヶ岳の北横岳に行ったとき、たくさんの黒曜石を見つけました。噴火の産物だと今回知って、すごく身近に感じました。
茅野市6年 伊野翔真記者

火山のめぐみはいろいろある。火山の近くにはきれいな水が多い。火山に雨がふると、ごみなどは火山灰や岩にひっかかって取り除かれ、水が染み込んで地下水になる。さくら島では火山灰がふりすぎて困ることもあるが、火山灰を含む土が作物を大きく育てている。
茅野市5年 松岡結菜記者

たぐみさん

火山のめぐみの一つが温泉です。火山ちたいの近くに多いそうです。いつも温泉に入っている私にとって、びっくりすることでした。今まで、こんなに火山にいやされているとは知らなかったです。火山はこわいけど、考えていただけ、見方を少し変えたいです。
飯山市4年 児玉彩月記者

火山の学校では、火山の模型や地層を作り、火山のしくみを理解しました。先生が、噴火や「火山のめぐみ」について話してくれました。温泉や、おいしい水や地熱発電もめぐみだそうです。美しい風景は、火山が何度も噴火してできるそうです。
長野市5年 青山遊記者

温泉や景色

火山には二つの顔があり、めぐみもたくさんあります。山がふん火して美しい景色を作るので、日本の国立公園のやく半部分が火山地いきにあります。わき水や地熱発電、金属資源も火山のめぐみです。
岡谷市4年 高林咲綾記者



佐藤公先生
「成層火山」を作って山になる仕組みを観察しました



か「火山」を割ると層ができたのがわかる



下からカラフルな「溶岩」を噴出させると、溶岩や火山灰が何度積み重なってできる「成層火山」の完成!

動画で見たマグマは赤い津波のようでこわかったけれど、きれいだとも思いました。山が大きいくずれる岩なだれは、人がうめられて死んだらと考えるとぞっとしました。でも、ふだんは温泉や景色を楽しめます。火山を知り、恐ろしさもわずらわずに資源を大切にすることが必要だと思います。
木曾町6年 榎原日向記者

大地を知ろう

日本には多くの活火山があるそうです。また、4つのプレートがぶつかり合い、大きな地震も起こりやすいです。ほくたちは災害が多い場所に住んでいるので、自分の住む土地のことや過去の災害を勉強しておくことが、自分の命を守ることになると教わりました。
塩尻市4年 植野瑛太記者